



しいば議会だより

第102号

令和3年4月

発行
編集

宮崎県椎葉村議会

議会だより編集委員会

〒883-1601

宮崎県東臼杵郡椎葉村大字

下福良1762番地1

TEL (0982) 67-3209

村内無料電話7-67-0091

オープンした尾向拠点施設「いろり」と尾向保育所

3月定例会 ……(2～4)

一般質問 ……(5～7)

議会の動き ……(8)

総括質疑 ……(5)

議員活動報告 ……(7～8)

新年度にオープンした「尾向保育所」と尾向拠点施設「いろり」の全景

令和3年3月定例会

令和3年3月定例会が3月4日に開会、同意案件1件、諮問案件1件、令和2年度補正予算、令和3年度当初予算や村道路線の認定、工事請負契約締結議案や条例の制定、一部改正などの議案審議が行なわれ提案どおり議決、11日に閉会しました。

また4名の議員（河口吉弘、椎葉文典、那須重美、尾前秀久）が一般質問を行い、村長の答弁を求めました。

3月定例会で審議・議決したこと

議案番号	件 名	審議審査結果
同意第 1 号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意(全員一致)
諮問第 1 号	椎葉村人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求めることについて	可決(全員一致)
議案第 4 号	令和2年度椎葉村一般会計補正予算(第12号)について	可決(全員一致)
議案第 5 号	令和2年度椎葉村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	可決(全員一致)
議案第 6 号	令和2年度椎葉村簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)について	可決(全員一致)
議案第 7 号	令和2年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計補正予算(第5号)について	可決(全員一致)
議案第 8 号	令和2年度椎葉村電気事業特別会計補正予算(第5号)について	可決(全員一致)
議案第 9 号	令和2年度椎葉村介護保険特別会計補正予算(第4号)について	可決(全員一致)
議案第 10号	令和2年度椎葉村後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)について	可決(全員一致)
議案第 11号	令和2年度椎葉村ケーブルネットワーク特別会計補正予算(第4号)について	可決(全員一致)
議案第 12号	令和3年度椎葉村一般会計当初予算について	可決(全員一致)
議案第 13号	令和3年度椎葉村国民健康保険特別会計当初予算について	可決(全員一致)
議案第 14号	令和3年度椎葉村簡易水道事業特別会計当初予算について	可決(全員一致)
議案第 15号	令和3年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計当初予算について	可決(全員一致)
議案第 16号	令和3年度椎葉村電気事業特別会計当初予算について	可決(全員一致)
議案第 17号	令和3年度椎葉村介護保険特別会計当初予算について	可決(全員一致)
議案第 18号	令和3年度椎葉村後期高齢者医療特別会計当初予算について	可決(全員一致)
議案第 19号	令和3年度椎葉村ケーブルネットワーク特別会計当初予算について	可決(全員一致)
議案第 20号	東臼杵郡行政不服審査会基本条例を廃止する条例について	可決(全員一致)
議案第 21号	日向・東臼杵郡行政不服審査会の共同設置について	可決(全員一致)
議案第 22号	椎葉村使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 23号	椎葉村交流拠点施設(ものづくりラボ)の指定管理者の指定について	可決(全員一致)
議案第 24号	椎葉村交流拠点施設設置条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 25号	椎葉村キャンプ場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 26号	農産物加工工場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 27号	椎葉村観光施設設置条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 28号	椎葉村製粉施設等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 29号	椎葉村物産センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 30号	椎葉村移住定住促進住宅使用条例の制定について	可決(全員一致)
議案第 31号	椎葉村誕生祝金に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 32号	椎葉村児童館及びへき地保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 33号	椎葉村立家庭的保育事業所等設置条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 34号	椎葉村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 35号	椎葉村介護保険条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 36号	椎葉村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 37号	椎葉村指定介護予防支援等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 38号	椎葉村指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 39号	椎葉村指定地域密着型介護サービスの事業の人員、設備及び運営ならびに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 40号	工事請負変更契約の締結について(令和2年度(令和元年度繰越)尾向地区拠点施設新築工事)	可決(全員一致)
議案第 41号	工事請負契約の締結について(令和2年度2年災第263号 村道本郷～合戦原線道路災害復旧工事)	可決(全員一致)
議案第 42号	工事請負契約の締結について(令和2年度2年災第316号 村道中尾～小ヶ倉線道路災害復旧工事2工区)	可決(全員一致)
議案第 43号	村道路線の廃止について	可決(全員一致)
議案第 44号	村道路線の認定について	可決(全員一致)
議案第 45号	椎葉村住宅設置条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)

令和3年度当初予算(議案第12号～19号)

会計名称	当初予算の額(千円)	前年度の予算額(千円)	前年度との比較(千円)
一般会計	4,730,000	5,100,000	△ 370,000
国民健康保険特別会計	342,220	358,338	△ 16,118
国民健康保険病院事業特別会計	544,679	554,430	△ 9,751
電気事業特別会計	140,459	139,237	1,222
簡易水道事業特別会計	62,710	58,832	3,878
介護保険特別会計	413,608	404,553	9,055
後期高齢者医療特別会計	81,458	88,712	△ 7,254
ケーブルネットワーク特別会計	82,718	82,265	453

(一般会計当初予算の主な内容)

* 詳しい事業内容や予算については、5月に全世帯配布予定の『椎葉村のしごと』をご覧ください。

○ 地域振興課関係の事業と予算

・地区計画支援事業(尾向地区)	68万5千円	・道路除草作業委託料や作業に伴う商品券の交付事業	845万2千円
・コミュニティ助成事業(不田野地区)	250万円	・図書館「ぶん・文・bun」図書購入費	663万6千円
・地域課題解決支援事業補助金(小崎地区)	570万円	・プレミアム商品券発行事業	728万8千円
・子ども焼畑運営補助金(尾向小学校)	60万円	・椎葉平家まつりやひえつき節日本一大会、各地区のまつり開催に伴う補助金	4,687万3千円
・花いっぱい運動補助金	51万5千円		

○ 税務住民課関係の事業と予算

・合併処理浄化槽維持管理に関する補助金	100万円		
・地籍調査測量設計委託料(字坂本・長山・浅藪・下尾野・轟谷・上灰ノ川・下灰ノ川・倉ノ迫・茅野・瀬戸ノ谷地区)	6,441万5千円		

○ 福祉保健課関係の事業と予算

・いきいきサロンや移送サービス事業など社会福祉協議会への業務委託料	1,349万4千円	・ねたきり老人介護手当、介護用品購入助成事業	229万9千円
・老人クラブ関係補助金	180万1千円	・誕生祝金(すこやか祝金)	520万円
・高齢者福祉まつり関係予算(村民体育館で開催)	339万3千円	・新型コロナウイルスワクチン接種委託料(病院)	1,117万8千円
・タクシー利用助成金	158万4千円		

○ 農林振興課関係の事業と予算

・結婚祝い金(5組)	125万円	・有害獣被害防止対策事業補助金(防護柵や電気柵)	136万
・そば出荷補助金	50万円	・有害鳥獣捕獲対策事業補助金(シカ、イノシシなど)	3,408万6千円
・伝統農業(焼畑継承団体)活動補助金	60万円	・国土保全造林事業補助金(新植や下刈施業への上乗せ補助金)	1,815万円
・農作業受委託組合補助金	333万円	・椎茸生産に関する補助金等予算(特用林産物含む)	4,572万7千円
・ほ場、農道整備や石垣整備、畦畔コンクリート整備事業補助金	687万6千円	・高性能林業機械整備事業補助金	300万円
・優良メス牛保留導入奨励事業補助金	1,423万3千円	・間伐促進事業補助金	1,120万円
・牛異常産3種混合ワクチン接種補助金	40万円		
・0～6歳児に木製おもちゃを贈る事業	384万3千円		

○ 建設課関係の事業と予算

・林道(小崎馬口岳線開設及び林道3路線の改良)工事請負費	8,940万円	・林道開設改良工事請負費(補助・単独)	9,940万円
・小規模水道施設工事請負費(松尾 栗の尾集落)	2,300万円	・村道新設改良工事請負費(補助・単独)	2億2,550万円
		・村単独急傾斜地崩壊防止事業補助金	500万円

○ 教育委員会関係の事業と予算

・高校生生活支援事業補助金(高校生に対する月額2万円の支援金)	1,560万円	・椎葉神楽まつり補助金	20万円
・奨学資金貸付金(高校・短大・大学・専門学校など)	2,382万円	・アジア友好の翼実行委員会補助金	415万円

○同意第1号「監査委員の選任につき同意を求めることについて」は、令和3年3月21日に任期満了となる監査委員（識見を有する委員）椎葉次男氏の選任に同意した。

氏名 椎 葉 次 男 氏（68歳）
住所 椎葉村大字下福良332番地（村椎）
任期 令和3年3月22日～令和7年3月21日

○議案第23号「椎葉村交流拠点施設（ものづくりラボ）の指定管理者の指定について」は、次の提案のとおり議決した。



○指定管理者となる団体の名称
ベル'sプラン合同会社
（代表 内窪まゆみ前地域おこし協力隊）
○指定管理の期間
令和3年4月1日から令和6年3月31日（3年間）
○指定管理委託料 年間294万3千円

○諮問第1号「椎葉村人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて」は、令和3年6月30日に任期満了となる松岡鍾氏の後任について、人権擁護委員法の規定により、村長諮問のとおり那須勝氏の推薦に同意した。

氏名 椎 葉 勝 氏（65歳）
住所 椎葉村大字大河内1690番地イ（狩底）
任期 令和3年7月1日～令和6年6月30日

○議案第30号「椎葉村移住定住促進住宅使用条例の制定について」は、移住定住の促進を図るため、空き家再生事業により整備した住宅の使用に関し、住宅使用の手続きや使用料などを定める条例。



○議案第31号「椎葉村誕生祝金支給に関する条例の一部を改正する条例について」は、これまで定められていた誕生祝金、第1子、第2子10万円、第3子50万円、第4子以降一人100万円について、第2子10万円を20万円とする条例改正。また、「祝金」を「すこやか祝金」に改めることとした。

○議案第35号「椎葉村介護保険条例の一部を改正する条例について」は、令和3年度から令和5年度を計画期間とする第8期介護保険事業計画に基づき、介護保険料の改定を行うための条例改正です。改正により介護保険料率は次のとおりとなります。

段 階	対 象 者	7期保険料 (昭和30～令和2年)	8期保険料 (令和3～5年)
第1段階	世帯全員が住民税非課税（合計所得金額＋課税年金収入≤80万円）	28,400	30,400
第2段階	世帯全員が住民税非課税（合計所得金額＋課税年金収入≤120万円）	42,600	45,600
第3段階	世帯全員が住民税非課税（第1・第2段階以外）	42,600	45,600
第4段階	本人が住民税非課税（合計所得金額＋課税年金収入≤80万円）	51,100	54,700
第5段階	本人が住民税非課税（上記以外）	56,700	60,800
第6段階	本人が住民税課税で、基準所得金額が120万円未満	68,100	72,900
第7段階	本人が住民税課税で、基準所得金額が210万円未満	73,700	79,000
第8段階	本人が住民税課税で、基準所得金額が320万円未満	85,100	91,200
第9段階	本人が住民税課税で、基準所得金額が320万円以上	96,400	103,300

○議案第40号 令和2年度（令和元年度繰越）尾向地区拠点施設新築工事請負変更契約の締結

契約金額 変更前 81,400,000円
変更後 81,398,000円（2,000円減額）
工 期 令和2年10月13日～令和3年3月20日
契約相手方 株式会社坂下組 代表取締役 坂下利博
契約の方法 随意契約

○議案第41号 令和2年度2年災第263号村道本郷合戦原線 道路災害復旧工事請負契約の締結

契約金額 51,150,000円
工 期 令和3年3月18日～令和3年3月25日
契約相手方 株式会社川上建設
代表取締役 椎葉眞行
契約の方法 指名競争入札

○議案第42号 令和2年度2年災第316号村道中尾小ヶ倉線 道路災害復旧工事2工区工事請負契約締結について

契約金額 52,580,000円
工 期 令和3年3月18日～令和3年3月25日
契約相手方 松尾建設株式会社
代表取締役 松岡慶次郎
契約の方法 指名競争入札

○議案第44号 村道4路線の認定について

1. 竹の八重水口線（松尾竹の八重）
延長 410.0m
2. 竹の枝尾日当高谷線（小崎竹の枝尾）
延長 2,144.0m
3. 唐谷線（尾向山日添）
延長 1,437.0m
4. 親家線（尾八重松木）延長 35.0m



総括質疑



河口吉弘 議員

問 村長就任以来、6期24年間に多くの成果をあげられたが、まだ解決しなければならぬ課題も数多く残されている。

少子・高齢化や人口減少、集落機能の低下や後継者の確保、雇用や移住・定住促進、起業の促進による地域の活性化、財政基盤の確立などは喫緊の課題である。村が抱える厳しい課題に行政・議会・村民が共通認識を持ち、課題解決にワンチームで取り組む「むらづくり百人委員会」などの組織づくりが必要ではないか。

次に、後継者の確保と人材育成の取り組みの強化のための財源や資源として、ふるさと納税や村有林の計画的に収獲し、財源として活用すべきではないか。

三つ目は、十根川大神館や上椎葉児童館、キャンプ場コテージなどの遊休公共施設をテレワークやワーケーション

の場としての有効活用策を検討すべきではないか。

最後に、この村に住んでよかったと実感できる村づくり施策の継続を新しい体制に引き継ぐことを要望したい。

答

村長任期も残すところ三か月、退任にあたっては6月の定例会で述べるが、新年度予算については新しい体制に委ねたいと思っている。

人口減少対策については、この村に住んでよかったと実感できる施策の展開が対策の一つであるとして取り組んできた。第6期長期総合計画を策定中であり、集落機能の維持は欠かせない大きな課題であると考えている。

雇用については、建設、林業関係において雇用の場はあるが、若者が入ってこないため従業員の高齢化が進んでいる。外国人を雇用できるような体制づくりについて、新しい体制で検討していただきたい。事務引継ぎ中で、私の想いもしっかり伝えたいと考えている。



那須重美 議員

問 村の財政状況は、健全化判断比率を見る限り健全な財政状況であると考ええる。経常収支比率についても、わずかに比率が上回っており更なる経費の抑制が必要と思われる。本村の貯蓄である財政調整基金をはじめとする基金積立総額は、令和元年度末には36億円となっており、財政運営に有効に活用されている。

現在、村民の中には住宅地まで道路が開通されていない世帯がある。村長の施政方針に「誰一人取り残されない、」生活の豊かさを実感できる質の高い経済社会の実現を目指す」とあるが、既設道路の維持管理とあわせて住宅までの道路は村民が一番整備してもらいたい案件。健全な財政運営と道路整備については、新執行体制に委ねていただきたいと思うが、見解を。

答

本村の財政調整基金等を繰り入れながらどうにか新年度の予算を組んでいる状況。経常収支比率も次第に上昇、70%前半だったものが80%を超え、非常に厳しい状況。特に人件費が非常に割合を占める状況になっている。しかし、村民の要望に応える為には人を増やしながら運営していくということも大切なことであり、バランスを研究しながら進めていきたい。

住環境、道路の問題は非常に大事なことであり、これまで懸命に努力してきた。村道については少ない職員の中で道路網の整備について真剣に取り組んでいる。村民から要望があれば、物理的に可能なところは、集落道の整備も大変重要な課題として真剣に取り組んでいきたい。



尾前秀久 議員

問1 現在、村内の若者数名が事業を起しており、今後更なる事業拡大が望まれるがなか、行政の支援が必要と考えるが村長の見解を。

答1 相談を頂ければ、一生懸命取り組んで行きたい。

も、行事の多さに縛られ動きが取れないと考える。行政を含め民間の行事をコンパクトにと考えるが、見解を伺いたい。

答2

行事の多さは以前から聞いている。一方的に行政からではなく、区長さん方々と調整をしながら決定していききたい。

問2 行政が取り組む事業の数や村内行事の数が多過ぎるのではないかと。新しい事業の取り組みをしように

村長に聞く!

～ 一般質問 ～



河口吉弘 議員

質問 新型コロナウイルスワクチン接種計画と体制づくりについて

問1 1年以上もコロナウイルスと必死に戦った村民にとって、ワクチン接種は最大の関心事。国からワクチンがいつどのくらいの量が届くか不透明の中、接種計画や接種の体制づくりの現状はどうなっているのか。

また、接種場所やスペースの確保、入院患者や平寿園入所者の接種をどのように考えているのか。村民に対する最新の情報発信についても尋ねる。

答1 接種体制については、予防接種を担当する福祉保健課、集団接種を行う病院、さらには交通機関を担当す

る各課により取り組むこととする。

3月中旬以降に高齢者にクーポン券を送付、4月以降に高齢者施設従事者、基礎疾患を有す人、その後一般の人にも送付予定。村民に対する詳細な情報提供ができていないが、今後、速やかな情報提供に努めていきたい。

問2

病院内で接種ということであるが、開発センターとか村民体育館を利用して、短期集中的に行ってはどうか。

答2

病院事務長 3月11日に病院内で接種のシミュレーションを行い、動線の確認や受付場所、最大接種人数などを検証したい。午前中は通常診療を行い、午後2時



から4時までを接種に充てたい。

院内でワクチンを保管して接種後15分から30分の副反応の経過を見る必要があり、病院内での接種がベストと考えている。平寿園入所者の移送については、総務や関係機関と協議している。



椎葉文典 議員

質問 上椎葉ダムまでの遊歩道整備について

問1 まずは、新型コロナウイルス感染防止の自粛で収入が激減している事業者に対して手厚い支援に感謝したい。一日も早いコロナの収束を願っている。

上椎葉周辺には鶴富屋敷等観光施設が点在しているが、昨年完成した「カテリーエ」も魅力ある観光施設となる。最近では全国的にダムの人気が高まっており、各地でダム関連のイベントが開催されているおり、これからは益々高まるダム観光を取り入れた新たな観光ルートの整備が必要。

過去に「さくらの森」から上椎葉ダムに入口までの遊歩道整備が行われたが、現在では倒木箇所が数か所もあり、遊歩道の機能を全く果たしていない。博物館入口には上椎葉ダムまでの遊歩道看板が設置されており、早急に整備すべきと考えるが答弁を。



那須重美 議員

質問 椎葉牛のブランド化を目指して

問1 現在「しいば牛」の生産、販売実績について尋ねる。平成元年より矢立フィードロッドにおいて食肉業者が飼育を始めている。飼育頭数も150頭を目標に「しいば牛」のブランド化の確立をしていきたいということに期待している。ふるさと納税返礼品としても充実していくが重要と考えるが、ブランド化に対し村長の見解を求める。

答1 物産センターにおいて「しいば牛」として仕入れ・販売は493kg、451万円であった矢立フィードロッドにおいて、県外業者が237頭の肥育を行い、本村の子牛48頭を購入している。出荷した肉は非常に良質な肉質であることが、枝肉成績フィードバック事業のデータで判明している。引き続き、購買者の求める優良な子牛の生産に必要な取組を進めていく。

ふるさと納税の返礼品としての利用は、先行する宮崎牛とは取扱量において30倍以上の開きがある。しいば牛として認知度を高めることは容易ではないと考えており、一つの特産品としてブランド力の向上に取り組む。

問2 矢立フィードロッドに入植している業者とも協議を重ね、ブランド確立のための企業努力の要請も必要ではないか。関係団体と一丸となり、行政においてもブランド推進室設置も検討、ブランド確立を目指すべきでは。

答2 矢立フィードロッド入植業者による購買実績は、平成30年9月から令和2年11月までに48頭の実



問3 平寿園入所者を病院まで移送して接種するのは、寝たきりの入所者には大きな負担になる。施設内での接種を検討いただきたい。

答3 病院長を中心に協議をさせていただいている。結果が出次第、村民や施設の方にお知らせしたい。

答1 上椎葉観光施設は周遊ルート化して整備を図ってきた。遊歩道活用は観光ガイドによる案内ルートでもあり、年に2回草刈り作業と点検を行っている。指摘があった件について早速点検し支障木等の撤去を行い通行可能として整備を実施した。

問2 観光の発展は第一次産業から第三次産業の進展に大な期待感がある。今後も官民一体となって観光振興に努力する必要があると考えるが。

答2 村内一斉清掃を年に2回実施されているが、上椎葉地区の生活集落道として草刈りなどを実施していただきたい。



績。これからも「しいば牛」を改良し、頑張っていくとことであり、村としても子牛生産に力をいれており、補助金についても検討していきたい。

質問 災害対策について

問1 昨年、痛ましい災害が発生した。現在、民家裏山の危険な立木の除去も災害対策として位置付けるべきと考える。

高齢者世帯が増える中、裏山の作業路や危険立木の状況を把握し、人身災害を未然に防止する対策を強く要望する。

答1 民家裏の流木の対応については、国、県の補助事業の適用を受けない箇所については、崩壊防止対策と兼ねて、立木伐採を行うものについては補助対象とするなどの対応を図っている。

日頃から自宅周辺に潜む危険を認識し、台風や降雨時に発令される情報や消防団等の指示を遵守いただくなど、村民の理解が必要である。引き続き、関係機関と一体となって災害対策に努めていく。

問2 集落ごとに民家周辺の状況を確認し、マップの作成を行うなど災害対策を行うべき。行政主導により危険民家として認定し、周知徹底お強制力をもった災害未然防止に努めることが大事と考えるが見解を。

答2 村としても作業路や山林管理については、力を入れながら村民の生命や財産、安心・安全を守る為に努力をしている。今後も、地権者や関係者と協議をしながらしっかり取り組んでいく。





質 問 大型化する豪雨、台風による
山林災害を防止するための
強い山づくりについて

尾前秀久 議員

問1 昨年の7月豪雨、台風10号により人工林を起因とする大災害が発生した。そこで、一つ目には、災害を防ぐ良好な森林にしていけるためには、間伐が必要と考えるが、今後どのように取り組んで行くのか伺いたい。

二つ目には、間伐が進まない理由には、山林作業従事者の減少、価格の低迷、搬出に伴う費用問題がある。充実した支援策の考えを伺いたい。

三つ目は、地球温暖化問題が迫ってきている。針葉樹林帯から混交林へ、そして、紅葉樹林、照葉樹林と多様性を持つ山づくりに移行する考えは。

答1 一つ目については、経営管理権集積計画を定め、所有者から経営や管理について委託を受け管理する。しかし、コロナの影響によって契約が進んでいない。

二つ目については、林道、作業道等路網整備を計画的に

進め、搬出コストの低減に努める。

三つ目については、森林のエリア毎に50年後、100年後を見据えたゾーニングを行うことが必要。

問2 現在の補助制度では、その危険な個所の搬出は難しい。公費を当てて整備し、安全の確保が必要。森林資源は山に暮らす人達にとって、大切な資源、しかし、経済林としての価値がない所までの再造林はいかかなものかと考える。

答2 現在、第6期長期総合計画を立案中、林業経営や安心、安全な山づくりに努めていく。

問3 椎葉村はその特性から、多様性に富んだ森林に移行していくと観光はもとより、商工業の発展と椎葉で暮らすことへの誇りとなり、後継者育成の礎を図る上でも、大切に考えるが。

答3 他町村に負けないような、村独自の強い山づくりに力を尽くしていきたい。



議員活動報告

日向市・東臼杵郡町村議会 議員研修会 2月10日

令和3年2月10日、コロナウイルス感染防止対策として日向・東臼杵郡5市町村議会議員がそれぞれの議会委員会室でオンライン形式による研修会が行われた。

講師は元全国都道府県議会議長会事務局次長の鶴沼信二氏による「地方議会・議員に求められる役割と議会（議員）活動」と題して2時間の講演を聴講しました。これまでの対面式からオンライン形式での講演で戸惑いもあったが、講師は『議員はそれなりに機能を果たしていると認識しているが、住民の評価は低く、議会・議員は機能していない』と認識しているなど、議員と住民の意識の乖離が最大の課題であると指摘した。

議会に対する住民の適正な評価を得て、議会と住民の意識乖離の縮小を図ることが課題であると述べ、まさに一人ひとりの議員がスキルアップに努め、村民の信頼を高めて行く議会づくりが不可欠であることを肝に銘じるオンライン講演会であった。



日向東臼杵広域連合議会 2月12日

令和3年第1回日向東臼杵広域連合議会が開催された。議案は次に掲げる3件であった。

- 第1号が「第5次日向東臼杵広域連合広域計画」の策定について
現在の計画が本年度で満了するため、令和3年度から7年度までの5年間の次期広域計画によるものである。
- 第2号は「令和2年度補正予算」で、次期最終処分場に係る次期広域計画によるもの
3年度以降の契約手続き等に必要な準備行為として、債務負担行為を制定するものである。
- 第3号の「3年度予算」では、当初予算における事業について
清掃センター及び斎場の運転管理業務委託をはじめ、当該施設の管理運営費並びに維持補修工事等の所要額その他経常経費が主に挙げられた。予算総額は6億2千800万円となった。
提案された3議案いずれも可決され、その後、議案に対する質疑が1名の議員よりあり閉会した。

県町村議会議長会定期総会 2月16日

県町村議長会の定期総会が宮崎市で開催された。議事日程については、会務概要についての報告が一、令和3年度における事業計画、予算、町村分担分金、議員互助会予算など4議案が提出され全て可決された。3年度の議長会予算総額は27,147千円となった。会議終了後に、数多くのテレビ出演をされています武田邦彦氏の「人生100年時代の地方と男女」と題した講話を受け研修会を終了した



議会の動き

12月	9日	林政審議会	3階中会議室
		村国民健康保険病院運営協議会	3階大会議室
	21日	障害者福祉計画策定委員会	すこやか館
	21日	介護保険事業計画策定委員会	すこやか館
	23日	日向東白杵広域連合オンライン模擬会議	委員会室
	25-26日	例月出納検査	監査委員会室
1月	25日	日向東白杵広域連合議会運営委員会	委員会室
	25-26日	例月出納検査	監査室
2月		議会運営委員会	委員会室
		全員協議会	委員会室
	2日	第1回村議会臨時会	議場
		産業福祉常任委員会現地調査(村道認定調査)	村内一円
	4日	県監査委員協議会定期総会	
	10日	日向市・東白杵郡町村議会議長連絡会議員研修会	委員会室
	12日	日向東白杵広域連合2月議会	日向市
	15日	第2回北部広域行政事務組合議会	延岡市
	16日	三村協議会役員会	宮崎市
		県町村議会議長会定期総会・研修会	宮崎市
	22日	介護保険事業計画策定委員会	3階大会議室
		議会運営委員会	委員会室
	25日	全員協議会	委員会室
		議会改革特別委員会	委員会室
	25-26日	例月出納検査	監査室

3月	4日-11日	3月村議会定例会	議場
	11日	議会だより編集委員会	委員会室
	15日	社会福祉協議会理事会	3階大会議室
	18日	タブレット端末操作研修会	議場
	19日	村観光協会理事会	3階大会議室
		観光プロジェクト実行委員会	3階大会議室
		議会運営委員会	委員会室
		全員協議会	委員会室
		第2回村議会臨時会	議場
	24日	交通安全合同会議	3階大会議室
		椎葉村総合戦略会議	3階大会議室
		第6次椎葉村長期総合計画第1回審議会	3階大会議室
		光ファイバーネットワーク運営委員会・放送番組審議会	3階大会議室
	25日	郡町村議会議長会定期総会	日向市
	25-26日	例月出納検査	監査室
4月	1日	辞令交付式	3階大会議室

三村議会協議会役員会 2月16日

三村議会協議会の役員会を同じく16日に行い、3年度の取り組み案件について、事業計画の確認を行い時期については、今後のコロナの状況等をみて調整することで終了した。



椎葉村議会テレビ生中継

6月定例会は6月10日開会予定となっています。
お問い合わせは議会事務局まで
(TEL 0982-67-3209)
是非傍聴にお越しください。
議会だよりは村ホームページでもご覧いただけます。

編集後記

コロナウイルス発生から一年以上が過ぎました。未だに収束が見通せない状況の中で、いよいよワクチン接種が始まろうとしています。椎葉村は高齢者も多く接種による副反応に対する対応の必要性が考えられます。

子ども達はコロナ禍の中で密を避けての卒業式や入学式と慌ただしい中での学校生活でしたが、一人ひとりがコロナ禍を克服しながら一歩ずつ明るい未来に向かって頑張っていることを切に願っています。議会も徐々に活動を展開しており、この6月には村長選挙も控えております。季節柄、村民の皆様には体調管理に気を配りながらお過ごしいただきたいと思います。引き続き議会活動に全力で取り組んで参りますので、機会あるごとに村民の皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

文責: 椎葉 一

議員におけるタブレット 操作講習会の開催 3月18日

働き方改革の一環として、今後、ICT活用のペーパーレス会議の導入が必要なことから議員全員によりますタブレット操作の講習会が議場において開催された。

導入に伴い、資料の閲覧、修正等が容易であることや、印刷等のコストの削減、必要な情報の検索や複製が簡単といったことにより、より一層、議会会議の充実が図られる。

反面、維持費用の確保や、サポートの必要性も生じるが、一層研鑽を重ね、議会活動の活性化につなげていきたいと感じたところです。

